日時：令和７年３月19日（水）19:00～
場所：阿弥陀地域交流センター 多目的ホール

第９回ＪＲ曽根駅周辺地区まちづくり協議会

次　　第

１　開会

２　会長あいさつ

３　議題

１）前回ワークショップの振り返り　【資料１】

２）１年間のまとめ　【資料２】

４　その他

１）令和７年度のスケジュール　【資料３】

５　閉会

・副会長あいさつ

資料1

第 8 回ワークショップの記録

・前回第 7 回協議会の協議内容を振り返るとともに、各班で地域資源や課題、まちづくりの方向性について議論・発表し、協議会全体で各班の議論の内容を共有した。

[1 班]

○ 交番の設置

駅前周辺地域に交番がないため、駅前に交番を設置

人通りの多い駅前に重点を置くことで、安全確保を目指す

○ 消防施設の充実

防災の観点から、消防施設を充実させる

○ 避難施設の拡充

過去の水害経験を踏まえ、教習所の高層階を活用した避難施設を設置

備蓄水などの備蓄品を保管する防災拠点を拡充

○ 堤防の拡幅

浜川の堤防が狭い箇所があるため、拡幅工事を行い、水害対策を強化

○ 公園の整備

北駅北側の旧来住宅地には大きな公園がないため、駅前に公園を整備

ラジオ体操など、人々が集まって使える多目的スペースを設ける

土山の駅で視察した防災公園を参考に、炊き出しやトイレなどの防災機能も備える

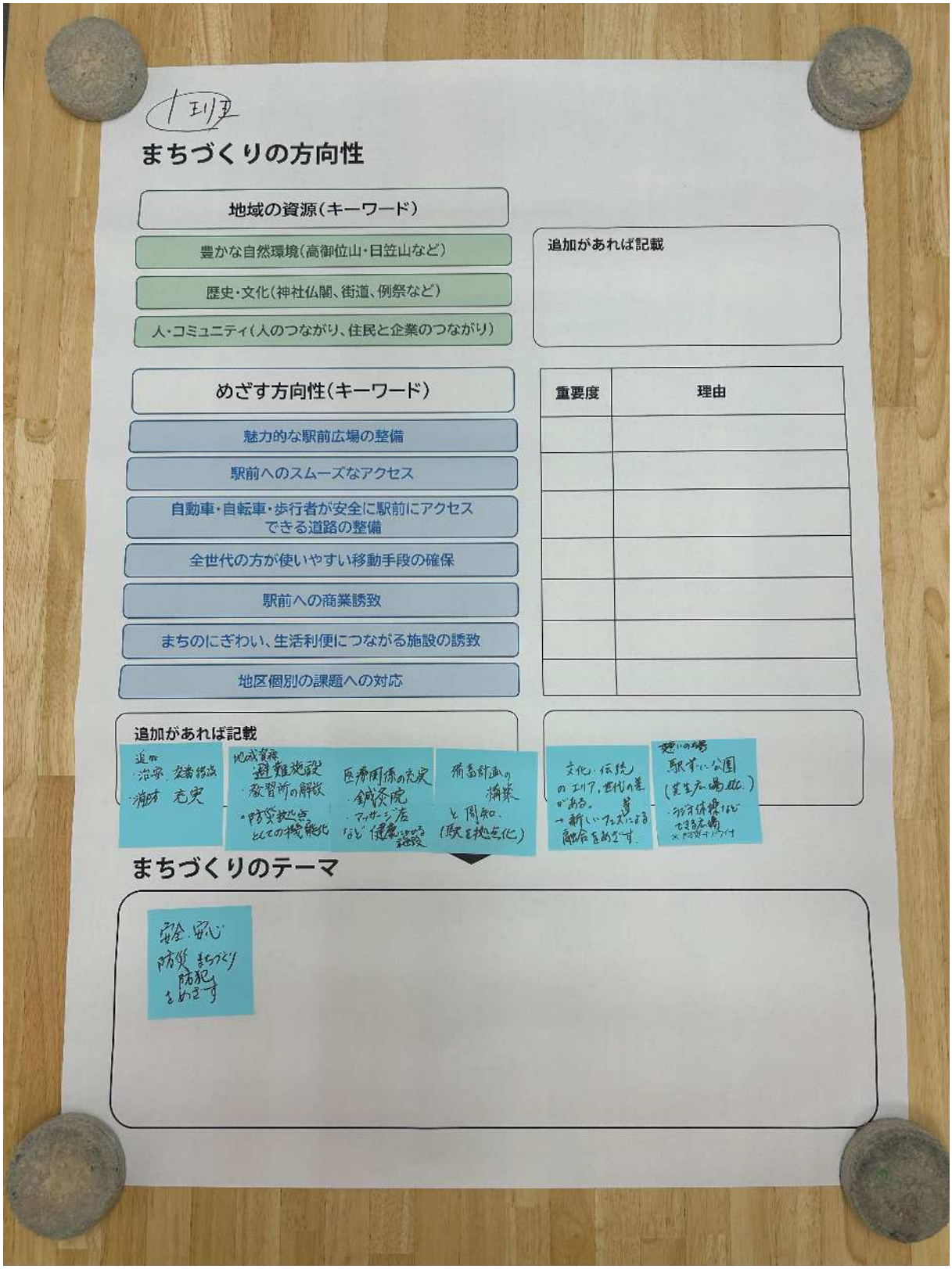
○ 医療関係の充実

高齢者が多いエリアにも関わらず、鍼灸院やマッサージ店が少ないため、健康に繋がる施設を誘致

○ 文化・伝統の継承

新しい住宅地と旧来住宅地の繋がりが薄いため、世代間のギャップを解消

秋祭りの参加者が少ないことから、新しいフェスのようなイベントを開催し、新旧の融合を目指す


1エリア
まちづくりの方向性
地域の資源（キーワード）
豊かな自然環境（高御位山・日笠山など）
歴史・文化（神社仏閣、街道、例祭など）
人・コミュニティ（人のつながり、住民と企業のつながり）
追加があれば記載
めざす方向性（キーワード）
重要度
理由
魅力的な駅前広場の整備
駅前へのスムーズなアクセス
自動車・自転車・歩行者が安全に駅前にアクセスできる道路の整備
全世代の方が使いやすい移動手段の確保
駅前への商業誘致
まちのにぎわい、生活利便につながる施設の誘致
地区個別の課題への対応
追加があれば記載
まちづくりのテーマ

地区の構想図
天川
踏切
堤防の拡幅
国道２号
交番
消防充実
曽根駅
JR 神戸線
防災拠点の拡充
姫路バイパス
山陽新幹線

[2 班]

■ 駅南エリアの大規模区画整理

既存の区画整理では効果が薄いため、抜本的な見直しが必要

エリア全体を大きく捉え、将来的な発展を見据えた区画整理

〇駅南エリアへの十字路設置

駅南エリア内の交通の流れを円滑にする

人々の回遊性を高め、賑わいを創出する

〇駅南広場への商業施設（クリニック等含む）と公園の整備

商業施設

地域住民の利便性を向上させる店舗を誘致

クリニック等の医療施設を誘致し、地域医療の充実を図る

公園

憩いの場となる緑豊かな空間を創出

■ 道路網の整備

〇JR 曽根～国道 2 号線を繋ぐ道路の新設

駅南エリアから国道 2 号線へのアクセスを向上させる

交通渋滞の緩和に貢献する

〇姫路バイパスまで繋ぐ道路の新設

駅南エリアから姫路バイパスへのアクセスを向上させる

広域交通との連携を強化する

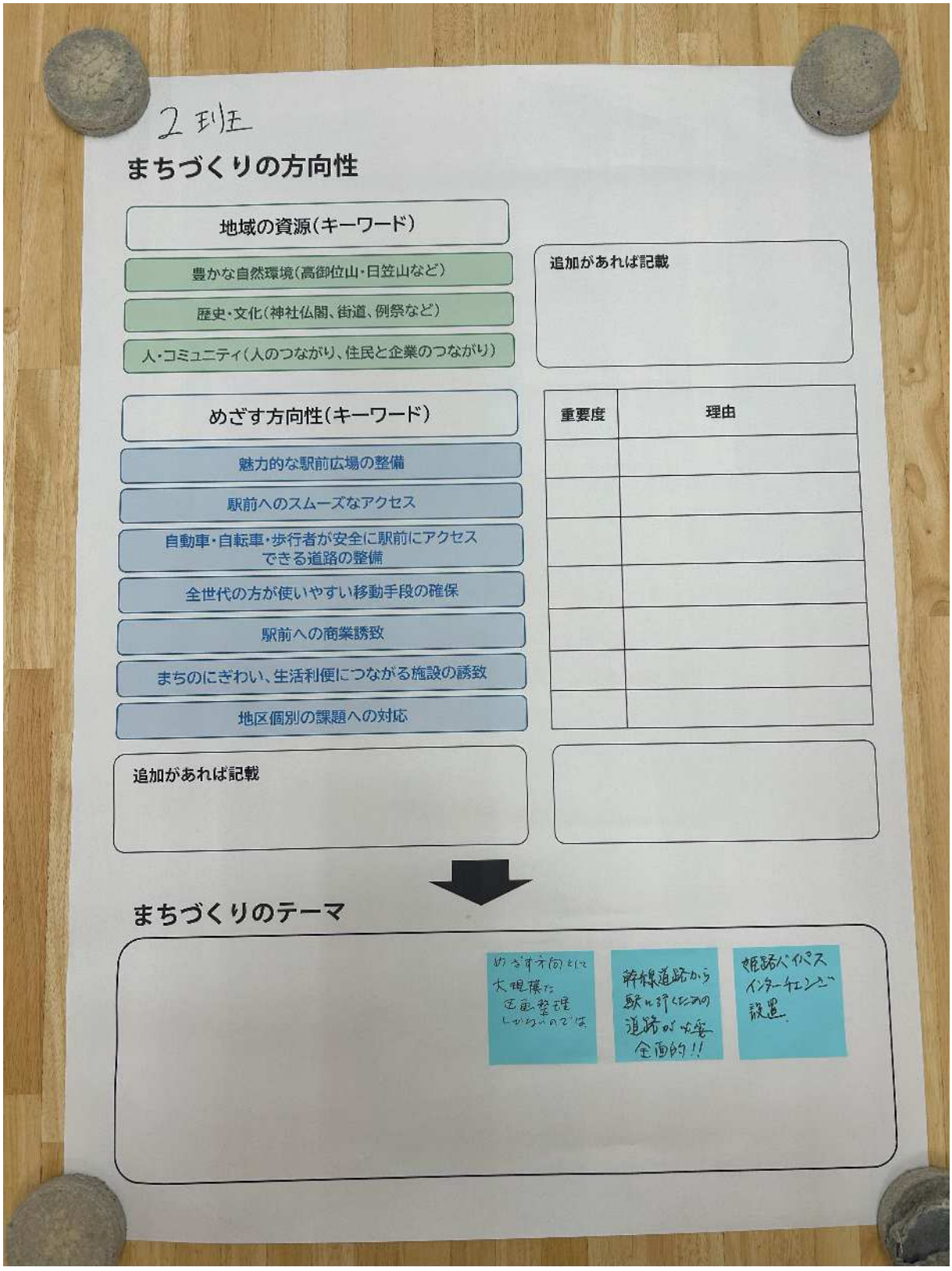
〇 天川沿いの道路拡幅

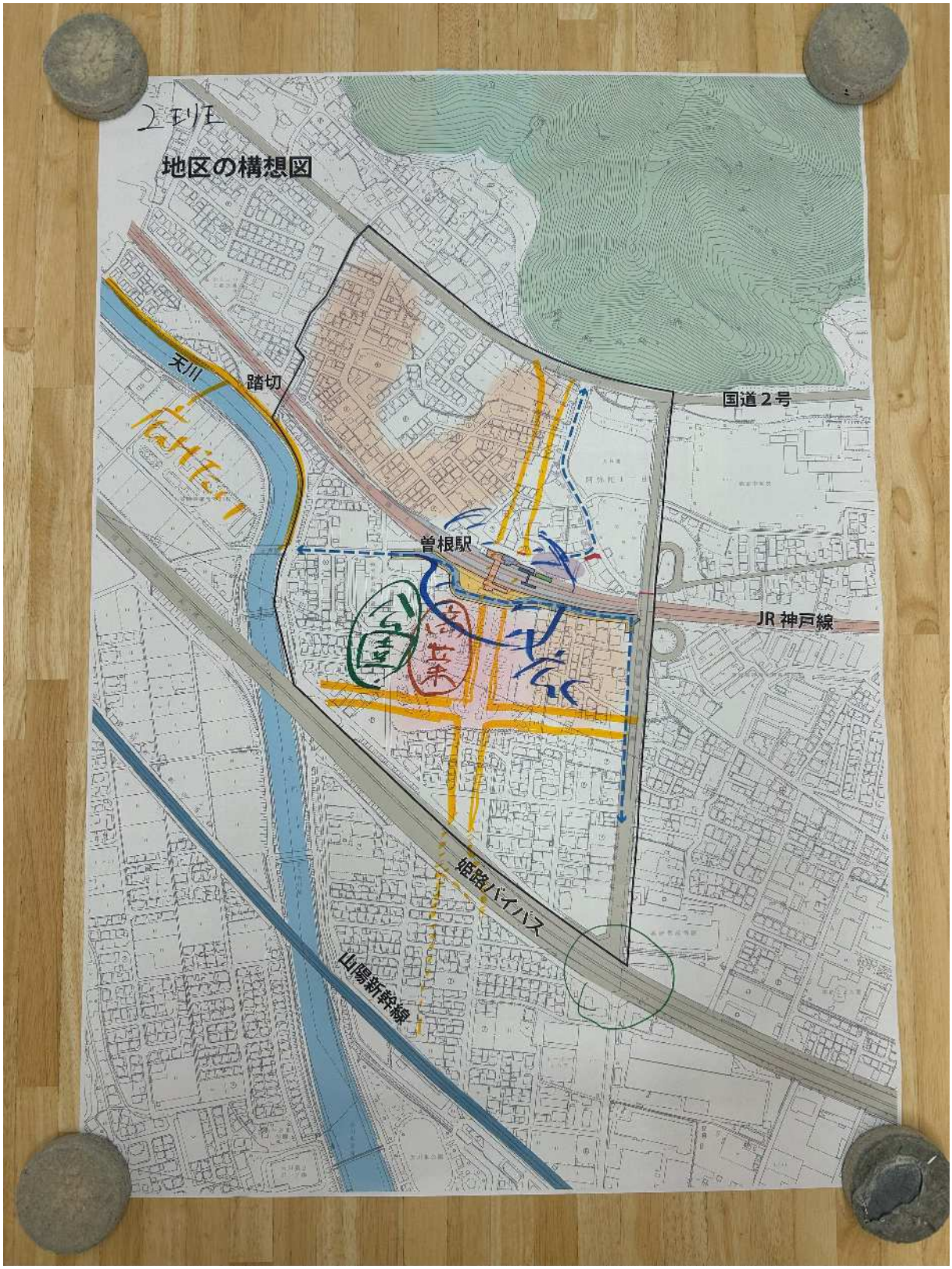
道路幅員を拡大し、安全性を向上させる

大型車両の通行を可能にする

〇 姫路バイパスへのインターチェンジ設置による曽根駅のアクセス向上

姫路バイパスからのアクセスを容易にし、駅周辺の活性化に貢献する


2班
まちづくりの方向性
地域の資源（キーワード）
豊かな自然環境（高御位山・日笠山など）
歴史・文化（神社仏閣、街道、例祭など）
人・コミュニティ（人のつながり、住民と企業のつながり）
追加があれば記載
めざす方向性（キーワード）
魅力的な駅前広場の整備
駅前へのスムーズなアクセス
自動車・自転車・歩行者が安全に駅前にアクセスできる道路の整備
全世代の方が使いやすい移動手段の確保
駅前への商業誘致
まちのにぎわい、生活利便につながる施設の誘致
地区個別の課題への対応
重要度
理由
追加があれば記載
まちづくりのテーマ
めざす方向として大規模な区画整理しかないのでは
幹線道路から駅に行くための道路が必要 全面的!!
姫路バイパス インターチェンジ 設置


エリア
地区の構想図
天川
踏切
国道２号
曽根駅
JR 神戸線
姫路バイパス
山陽新幹線

[3 班]

○道路網の整備

幹線道路の拡幅・整備による安全性向上

2 号線へのアクセス道路の拡充（川の橋を渡るルート以外に、別所トライアル横付近からのルートを新設）

姫路バイパス沿いの道路拡幅

通学路の安全性の向上

○公共交通機関との連携強化

JR 駅からの輸送計画（人・物）

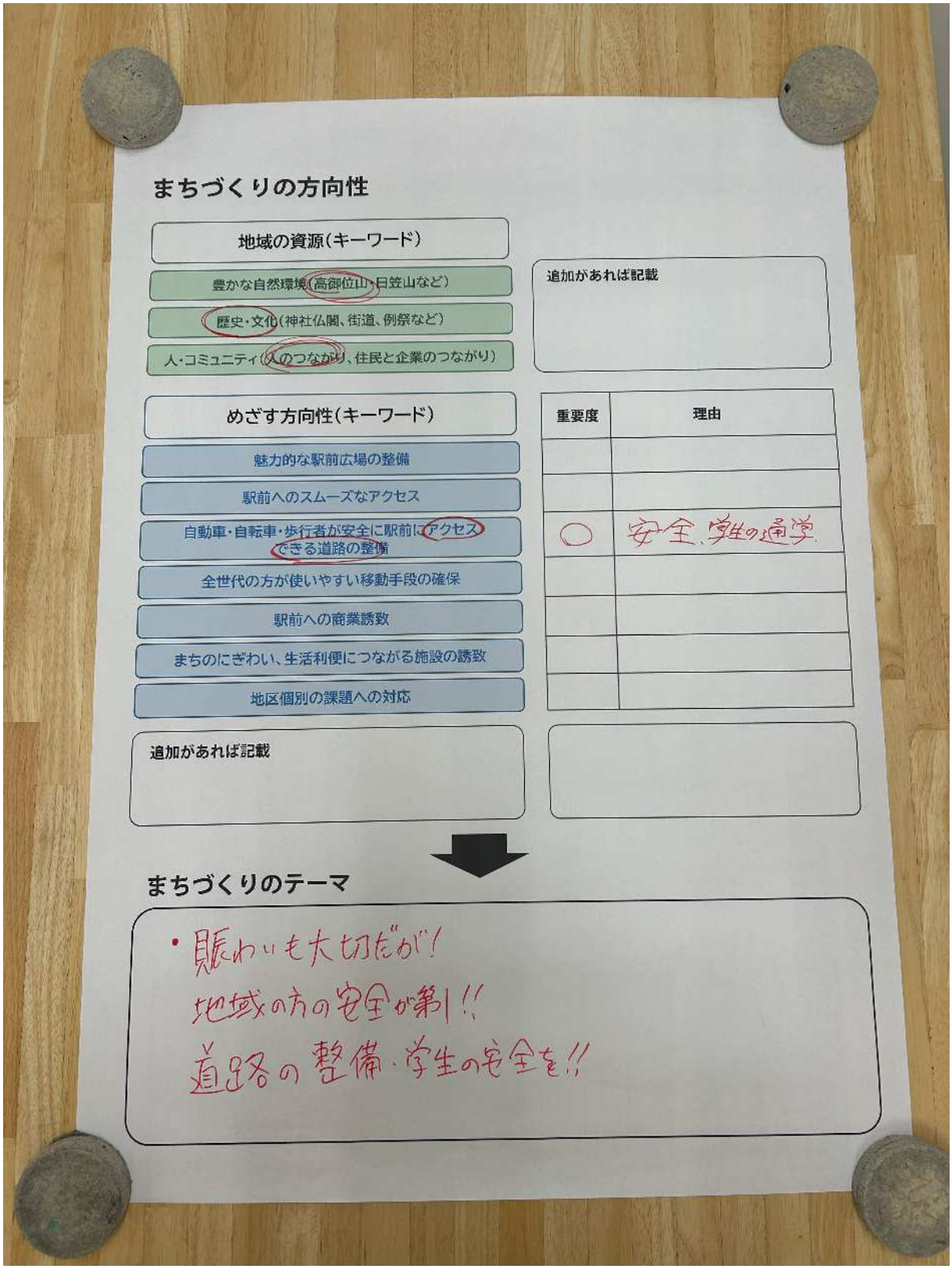
JR 利用者の利便性向上、地域へのアクセス向上

○一体的な都市開発

教習所を含むエリア一体での区画整理

クリニックビル、商業施設等の複合施設建設

地域住民の利便性向上、集客力向上、地域活性化



まちづくりの方向性

地域の資源（キーワード）	追加があれば記載
豊かな自然環境（高御位山、日笠山など）	
歴史・文化（神社仏閣、街道、例祭など）	
人・コミュニティ（人のつながり、住民と企業のつながり）	

めざす方向性（キーワード）	重要度	理由
魅力的な駅前広場の整備		
駅前へのスムーズなアクセス		
自動車・自転車・歩行者が安全に駅前にアクセスできる道路の整備	○	安全、学生の通学
全世代の方が使いやすい移動手段の確保		
駅前への商業誘致		
まちのにぎわい、生活利便につながる施設の誘致		
地区個別の課題への対応		

追加があれば記載	

まちづくりのテーマ

- 賑わいも大切だが！
  地域の方の安全が第一!!
  道路の整備・学生の安全を!!

地区の構想図
天川
踏切
国道２号
曽根駅
JR 神戸線
姫路バイパス
山陽新幹線

資料2

ＪＲ曽根駅周辺地区まちづくり協議会
活動のまとめ
（令和5年度～令和6年度）

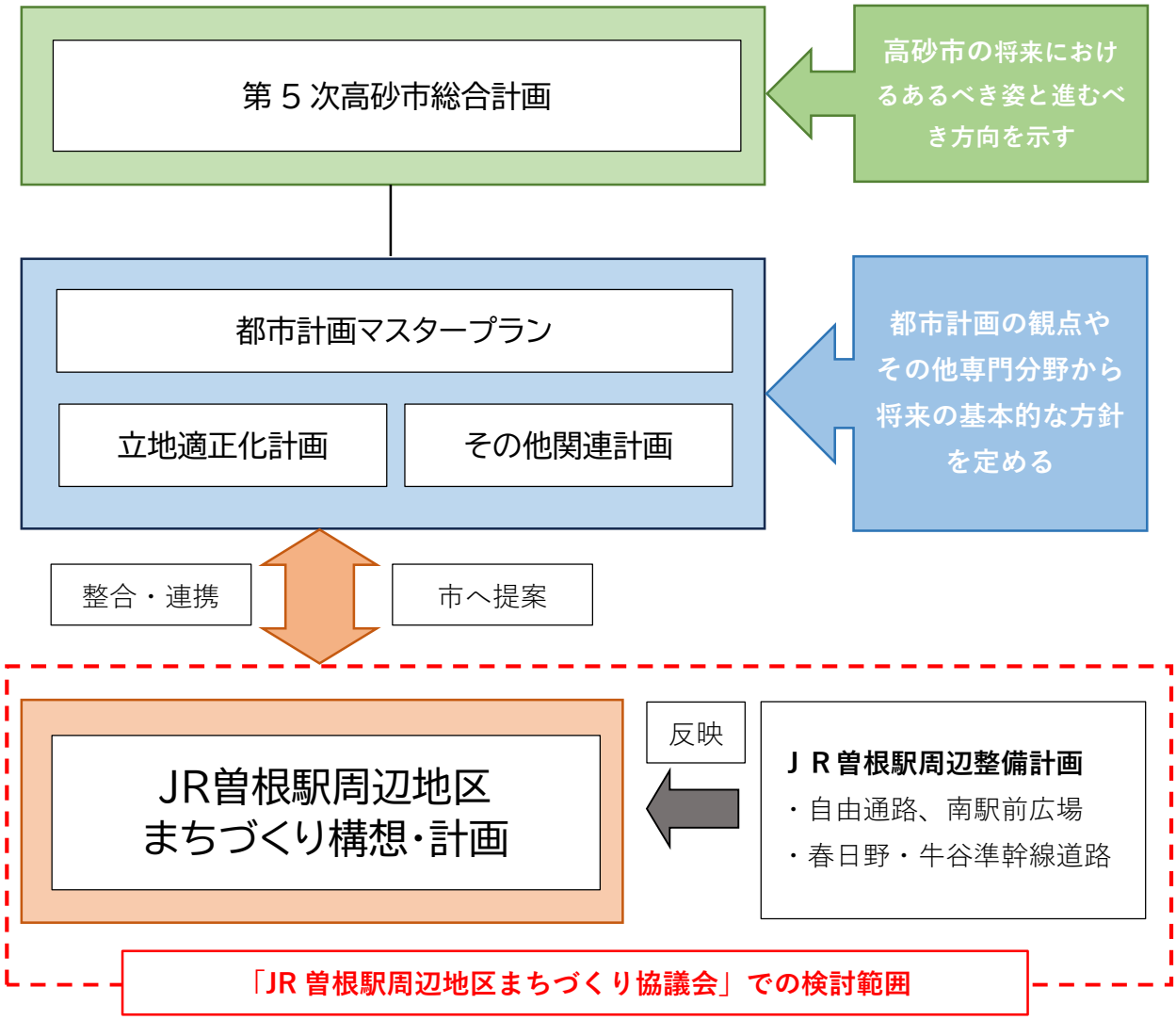
ＪＲ曽根駅周辺地区まちづくり協議会

0．まちづくり構想・計画策定の目的

本計画は、JR 曽根駅周辺の将来を見据えた魅力あるまちづくりを目指し、策定するものです。駅周辺整備は、地域の皆様の生活に深く関わる重要な事業であり、計画段階から住民や事業者の皆様との対話の取り組みを進めることにより、将来の JR 曽根駅周辺まちづくりのあり方について多様な意見を踏まえて検討し、地域の個性を活かしたまちづくりの実現をめざすものです。

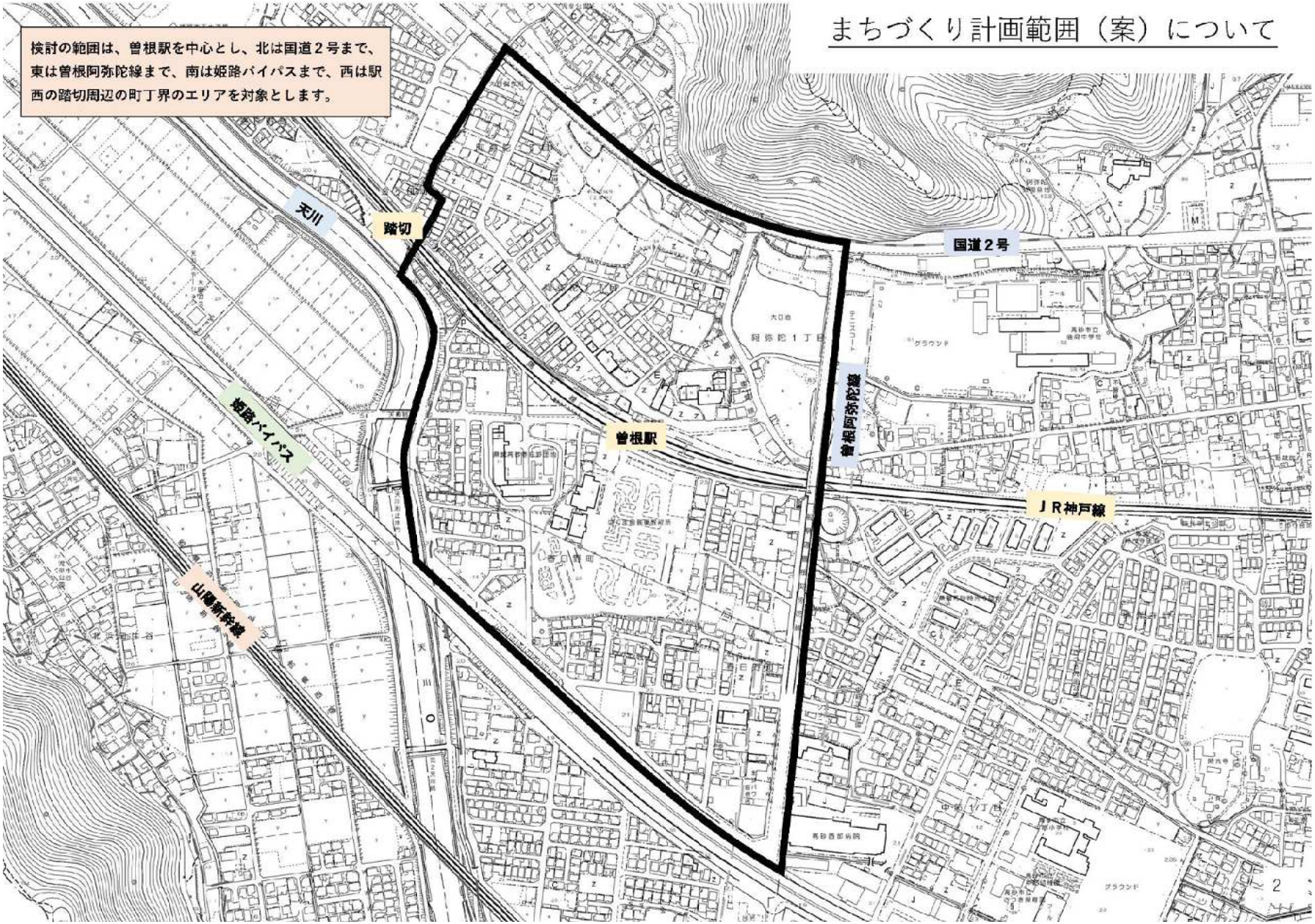
1．まちづくり構想・計画の位置づけ

・高砂市の将来におけるあるべき姿と進むべき方向について定めた「第 5 次高砂市総合計画」や都市計画の観点から将来の基本的な方針を定めた「都市計画マスタープラン」のほか、関連計画との整合・連携を図ります。



まちづくり計画範囲（案）について

検討の範囲は、曽根駅を中心とし、北は国道２号まで、東は曽根阿弥陀線まで、南は姫路バイパスまで、西は駅西の踏切周辺の町丁界のエリアを対象とします。



２．JR曽根駅周辺の発展経緯

（高砂市都市計画マスタープランより抜粋）

○中筋地域

・中筋地域は、原始時代に形成された沿岸砂州上の集落です。
・13 世紀に創建された時光寺があり、江戸時代には農業を主として栄えました。
・近代に入ると竜山石の採掘が始まり、明治以降は煉瓦工場も営まれました。

○曽根地域

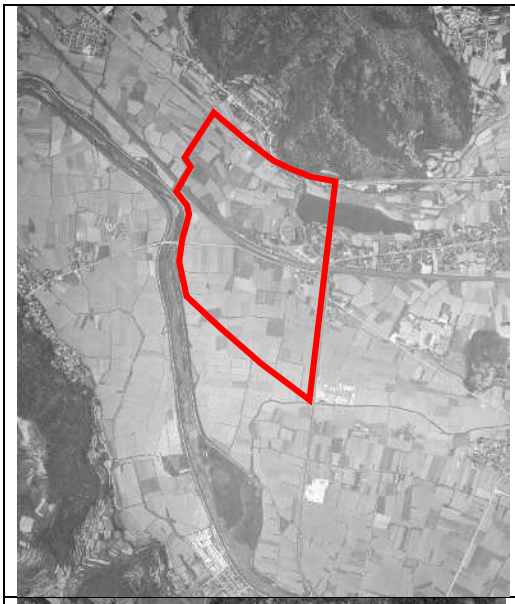
・曽根地域は、天川河口の砂州と沿岸部の砂州が合成された地形に成り立っています。
・中世から塩田が存在し、江戸時代には入浜式塩田が沿岸部に展開しました。
・近代には鉄道の開通や煉瓦工場の設立などにより変容しましたが、300 年以上にわたる塩田廃止により商工業の基盤が変化しています。

○阿弥陀地域

・阿弥陀地域は、北側の阿弥陀山地に囲まれた盆地と、南側の段丘と沖積地からなります。
・古代遺跡が数多く分布し、古代山陽道が東西に貫いています。
・江戸時代には西国街道に沿って集落が形成され、農業や竜山石の採掘が行われました。
・近代には鉄道が敷設されましたが、大規模な産業転換は行われず、田園風景が広がる自然の残るエリアです。

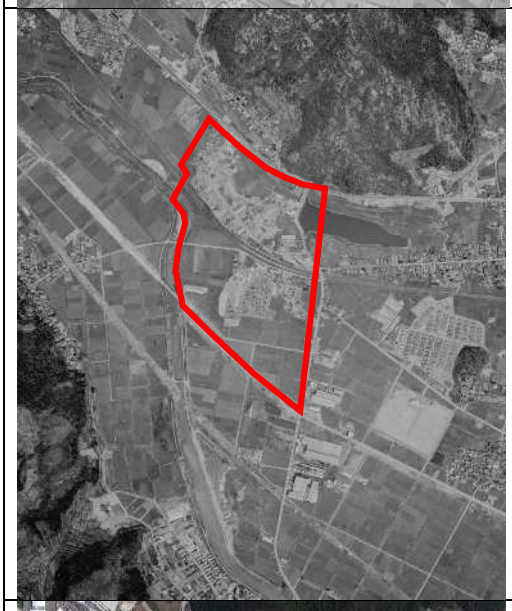
○北浜地域

・北浜地域は、北浜山地と大塩砂州に囲まれた後背湿地帯に形成されました。
・西浜は製塩従事者が多く住み、北脇にも塩田が広がりました。
・牛谷は、かつて谷里と呼ばれていたが、奈良時代の霊牛伝説から名を改めたといわれています。北脇と西浜の名を合わせて北浜という地名が名づけられました。
・現在姫路市である大塩と同じ政治文化経済圏でした。



昭和36年頃の曽根駅周辺

・まちづくり計画範囲はほとんどが田畑である。
・東側に延びる西国街道沿いには人家が並んでいるのが確認できる。



昭和45年頃の曽根駅周辺

・まちづくり計画範囲に、土地利用転換が起こり、住宅等が建設されている。
・駅南側には「はりま自動車教習所」が立地している。
・周辺でも住宅団地の建設が見られる。

平成24年頃の曽根駅周辺

・まちづくり計画範囲からほぼ田畑がなくなり、住宅等が立地している。
・大日池が一部埋め立てられ、鹿島中学校が建設されている。

３．地区の魅力

○自然環境

・駅の北側には「播磨富士」とも呼ばれる高御座山があります。天気が良いと淡路・四国も見渡せ市ノ池公園や阿弥陀町新池のコウノトリも見所です。
・日笠山～牛谷にかけてのハイキング道も自然豊で桜やノジギクの名所となっています。
・自然豊かな環境に囲まれた我が地域は夏も涼しく過ごしやすい環境にあります。

（高砂市 HP より）

○歴史・文化

・高御座山の麓にある鹿島神社や経政神社、曽根天満宮、時光寺などの有名な神社仏閣があり、曽根天満宮の例大祭を始めとした祭り文化があります。
・国道２号の北側には西国街道が通っており、当時の面影をたどることができます。

（高砂市 HP より）

○人・コミュニティ

・祭りによる人々のつながりなどしっかりとした地域コミュニティが醸成されたまちです。
・地域住民だけでなく、周辺や臨海部の企業へ通勤される方や通学者、ハイキングに訪れる登山客などの利用も多く、多様な人々が駅を利用する地域特性があります。

（高砂市 HP より）

４．地区の課題

○駅周辺

・駅の北側には駅前広場があり、南側にも駅前広場が整備される予定ですが、いずれも面積が狭く、車のアクセスや駐停車の利便性が低い状況にあります。
・特に南側駅前広場へは東西道路からのアクセスが悪い状況にあります。

○周辺交通

・姫路バイパスや国道２号など地域の東西幹線道路から駅前に至る南北の道路がぜい弱で、駅間へのアクセスが悪い状況にあります。
・駅西側の大日池線の鉄道高架部分に設けられている通称ループを通っての駅前へのアクセス等は危険な状況にあります。
・駅及び駅周辺が整備され、駅前への交通量が増えることを想定すると、自動車・自転車・歩行者それぞれの安全性を確保する事が求められます
・駅西側の天川堤防沿いの道路は、姫路市域は幅員が確保されていますが、高砂市域はすべての幅員が確保できていないため、駅前へのスムーズなアクセスができない状況にあります。
・国道２号や姫路バイパスが渋滞している際には、地区内に通過交通が流入している現状があります。

○移動

・じょうとんバスなど駅からの交通手段はありますが、便数の問題などで周辺地区から駅へのスムーズなアクセスができない状況にあります。

○商業施設

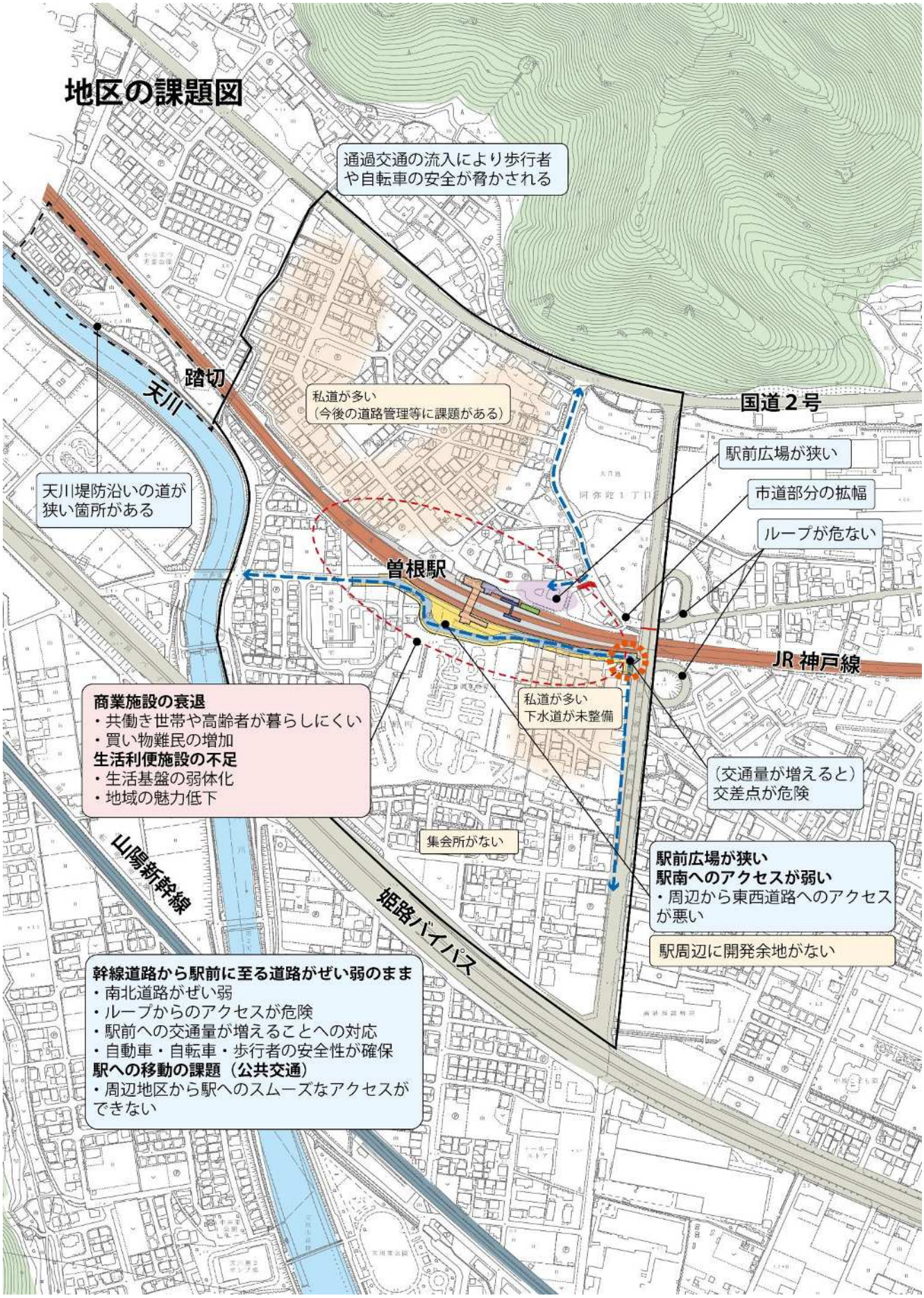
・駅周辺に商業施設が少なく、駅から歩いて行けるスーパーなどが近くにありません。共働き世帯や高齢者が暮らしにくく、今後、買い物難民の増加が懸念されます。

○生活利便施設

・公園などの緑空間が少ないことや、病院や銀行 ATM など生活利便施設が減少し生活基盤が弱体化しているため、地域の利便性低下、魅力低下が懸念されます。

○地区別の課題

・駅周辺の地域には、地区の特性に応じた個別の課題があり、実情に合わせて課題解決を図る必要があります。


地区の課題図
通過交通の流入により歩行者や自転車の安全が脅かされる
踏切
天川
天川堤防沿いの道が狭い箇所がある
私道が多い
（今後の道路管理等に課題がある）
国道２号
駅前広場が狭い
市道部分の拡幅
ループが危ない
曽根駅
JR 神戸線
私道が多い
下水道が未整備
（交通量が増えると）
交差点が危険
商業施設の衰退
・共働き世帯や高齢者が暮らしにくい
・買い物難民の増加
生活利便施設の不足
・生活基盤の弱体化
・地域の魅力低下
集会所がない
駅前広場が狭い
駅南へのアクセスが弱い
・周辺から東西道路へのアクセスが悪い
駅周辺に開発余地がない
山陽新幹線
姫路バイパス
幹線道路から駅前に至る道路がぜい弱のまま
・南北道路がぜい弱
・ループからのアクセスが危険
・駅前への交通量が増えることへの対応
・自動車・自転車・歩行者の安全性が確保
駅への移動の課題（公共交通）
・周辺地区から駅へのスムーズなアクセスができない

５．まちづくり構想

◆まちづくりのテーマ

誰もが暮らしやすい、安全安心なまちづくり
～駅とまちが一体となり、歴史文化が薫るまちへ～

◆まちづくりの方向性

○魅力的な駅前広場の整備

・交通結節点の強化だけでなく、人が集まり交流し、災害時にも活用できるだけの面積を確保した魅力的な駅前広場の整備が望まれます。
・新たなモビリティの普及など今後の交通環境の変化も想定し、駅前広場の空間を想定する必要があります。
・日頃から居住者だけでなく、通勤者や通学者、登山などの来訪者の利用も多いため、多様な利用に対応した広場づくりを行う必要があります。
・周辺道路の整備を行い、駅前広場へのスムーズなアクセスを確保する事が望まれます。

○幹線道路から駅前への連携強化

・曽根駅から国道２号や姫路バイパスへのアクセス強化を検討し、自動車・自転車・歩行者それぞれが安全に駅前にアクセスできる道路の整備が望まれます。
・駅東側のループ及びループ下の安全性の確保や天川堤防沿いの道路幅員の確保も望まれます。

○駅周辺のあり方

＜安全・安心＞

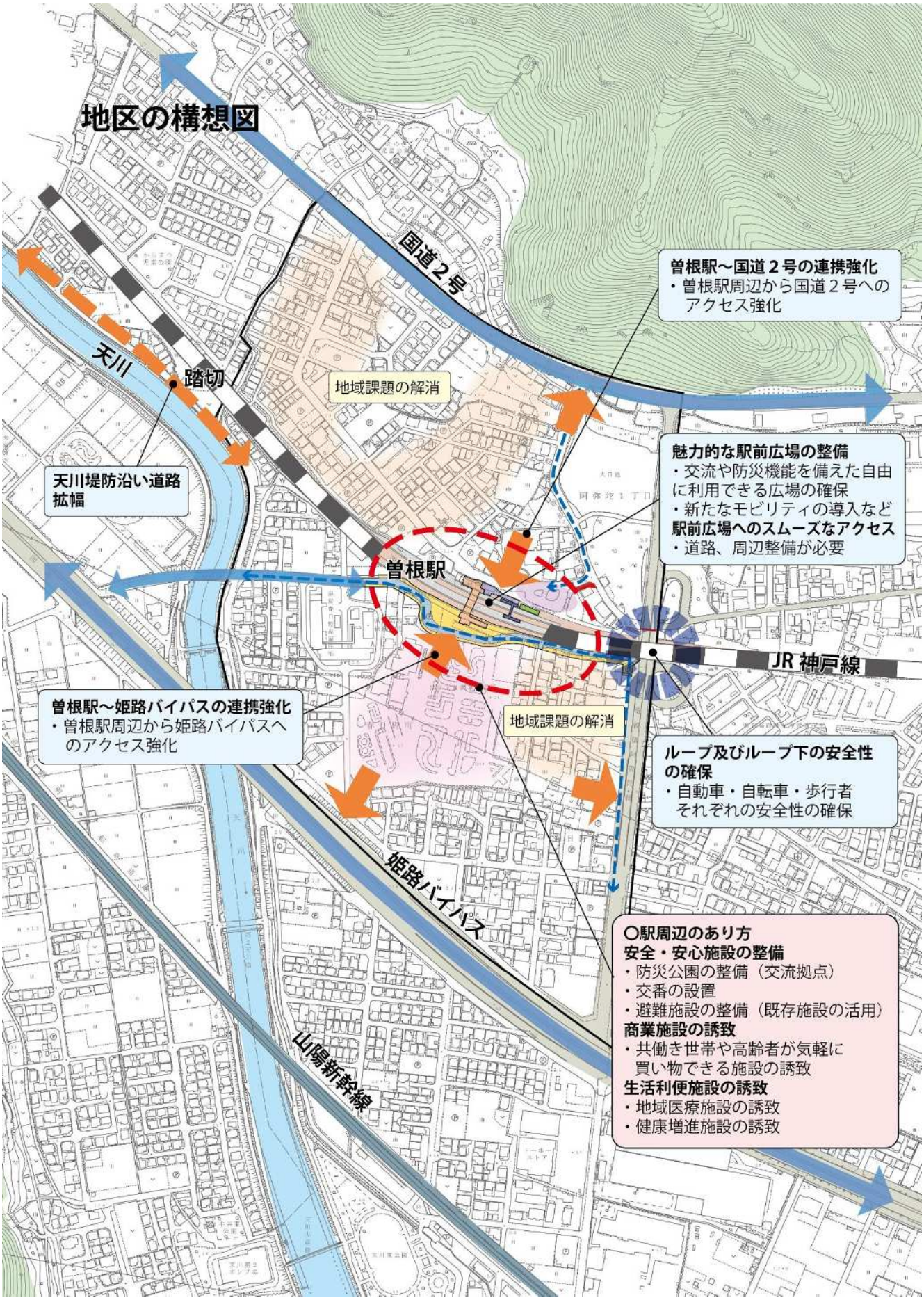
・日常的には交流拠点や憩いの場となり、災害時には防災拠点となる駅前のシンボルとなる公園の整備が望まれます。
・駅の周辺の安全性の確保の観点から交番の設置を望みます。
・水害に備え、高所の避難所の確保を望みます。既存の建物の利用も考えられます。

＜暮らしやすさ＞

・共働き世帯や高齢者が日常的に利用できるスーパー等商店の誘致を望みます。
・まちのにぎわい、生活利便につながる医療モールや健康増進施設、コミュニティセンターなどの誘致を望みます。

○地区個別の課題

・駅周辺の地区には、地区の成り立ちなどに応じた個別の課題があります。地区ごとに課題解決に向けた取り組みを進めます。


地区の構想図
国道２号
曽根駅～国道２号の連携強化
・曽根駅周辺から国道２号へのアクセス強化
天川
踏切
地域課題の解消
魅力的な駅前広場の整備
・交流や防災機能を備えた自由に利用できる広場の確保
・新たなモビリティの導入など
駅前広場へのスムーズなアクセス
・道路、周辺整備が必要
天川堤防沿い道路拡幅
曽根駅
JR 神戸線
曽根駅～姫路バイパスの連携強化
・曽根駅周辺から姫路バイパスへのアクセス強化
地域課題の解消
ループ及びループ下の安全性の確保
・自動車・自転車・歩行者それぞれの安全性の確保
姫路バイパス
山陽新幹線
○駅周辺のあり方
安全・安心施設の整備
・防災公園の整備（交流拠点）
・交番の設置
・避難施設の整備（既存施設の活用）
商業施設の誘致
・共働き世帯や高齢者が気軽に買い物できる施設の誘致
生活利便施設の誘致
・地域医療施設の誘致
・健康増進施設の誘致

■交通・移動に関すること（まとめ）

分類		現状	直近の整備	残る課題	めざす方向性
駅前広場	駅北	駅前広場が狭い	・ロータリー、駐輪場が整備済み	**駅前広場が狭い**	**魅力的な駅前広場の整備** ・交流や防災機能を備えた自由に利用できる広場の確保 ・新たなモビリティの導入　など **駅前広場へのスムーズなアクセス** ・道路、周辺整備が必要
	駅南	駅前広場がない	・駅前広場を整備	**駅前広場が狭い** **駅南へのアクセスが弱い** ・周辺から東西道路へのアクセスが悪い	
周辺交通	駅北	狭い	・隅切りなどの道路改修	**幹線道路から駅前に至る道路がぜい弱のまま** ・南北道路がぜい弱 ・ループからのアクセスが危険 ・駅前への交通量が増えることへの対応 ・自動車・自転車・歩行者の安全性が確保	**自動車・自転車・歩行者が安全に駅前にアクセスできる道路の整備** ・交差点の拡幅 ・南北・東西の交通を便利にする ・県道だけでなく市道も拡幅（北側） ・駅南へ至る幹線道路の整備
	駅南	狭い	・東西道路の拡幅		
	国道2号・バイパス	幹線道路の渋滞時に地区内に通過交通が流入		通過交通の流入により歩行者や自転車の安全が脅かされる	幹線道路ネットワークの完成による地区内への通過交通の排除
	天川周辺	天川を車で渡るルートが限定されている 天川堤防沿いの道が狭い		駅前へのスムーズなアクセスができない	天川以西の地区からのスムーズなアクセスの確保（堤防沿い道路の拡幅）

移動	駅へのアクセスが悪い（じょうとんバス）		周辺地区から駅へのスムーズなアクセスができない	**全世代の方が使いやすい移動手段の確保** ・バリアフリー ・子育て世代、障がい者への配慮など公共交通の充実

■商業・生活基盤に関すること（まとめ）

分類	現状	直近の整備	残る課題	めざす方向性
安全・安心の確保				**防災公園の整備** ・日常的には交流拠点となる防災公園の整備 **交番の設置** ・地域の安全を支える交番を駅前に設置 **避難施設の整備** ・水害に備え、高所の避難所を確保。（既存施設の活用も考えられる）
商業施設	商業施設の衰退 近くにスーパーがない		・共働き世帯や高齢者が暮らしにくい ・買い物難民の増加	**駅前への商業誘致** ・食品、日用品を買える施設、コンビニ ・大型のショッピングセンター、道の駅（幹線道路沿いでも良い） ・若者や家族が楽しめる施設
生活利便施設	公園や緑空間が少ない 病院などが少ない 銀行 ATM が減っている		・生活基盤の弱体化 ・地域の魅力低下	**まちのにぎわい、生活利便につながる施設の誘致** ・身近な医療モールの誘致 ・健康増進施設の誘致 ・多目的なコミュニティセンター ・優良な企業の誘致 ・市役所の出張所
地区別	私道が多い		・老朽化に伴う維持管理ができるか	公道への移管を行う

	下水道が未整備		衛生面、管理面での課題がある	・整備上の課題を解決し公共下水道を整備する
	集会所がない		県住の集会所を借りるが、階段があり不便	・地区の集会所を設けるか、駅前に周回ができるスペースを整備する
	駅周辺に開発余地がない		活用できる土地が少ない	・大規模土地利用転換による新たなまちづくりの推進

これまでの活動経緯

	日時	主な内容
第１回	令和 5 年 7 月 19 日（水）	設立総会 ・規約案の承認、会員の確認・役員の選出
第２回	令和 5 年 11 月 15 日（水）	・まちづくり構想・計画の目的、位置づけの確認 ・まちづくりヒアリングシートの確認
第３回	令和 6 年 2 月 5 日（月）	・ヒアリング結果のまとめ （地域資源、課題について）
第４回	令和 6 年 3 月 18 日（月）	・ワークショップ（駅舎のデザイン、地域資源）
第５回	令和 6 年 7 月 17 日（水）	・スケジュールの確認 ・昨年度のまとめの確認
第６回	令和 6 年 9 月 9 日（月）	・地域課題アンケートのまとめ ・課題解決に向けた検討（ワークショップ）
見学会	令和 6 年 9 月 27 日（金）	見学会 土山駅／福崎駅／はりま勝原
第７回	令和 6 年 12 月 10 日（火）	・見学会の報告 ・地域課題についてのとりまとめ
第８回	令和 7 年 2 月 17 日（月）	・まちづくりの方向性（ワークショップ） ・まちの構想図の検討（ワークショップ）
第９回	令和 7 年 3 月 19 日（水）	・１年間のまとめ

資料3

JR曽根駅周辺地区まちづくり協議会　令和7年度活動スケジュール案

令和５年度
- ○設立準備
- ○地域課題の把握
- ○検討の方向性確認

令和６年度
- ○協議会の開催（5 回程度）
- ○類似事例見学会の開催
- ○まちづくり構想の策定

令和７年度
- ○協議会の開催（4 回程度）
- ○まちづくり計画の策定
  ⇒市へ提案

令和 7 年度活動スケジュール案

6 月初旬	8～9 月頃	11～12 月頃	2 月頃
ふりかえりとまちづくりの実現化に向けて ・昨年度のふりかえり ・検討項目の整理　など	**まちづくり計画の検討①** ・駅前広場 ・周辺交通 ・誘導施設　など	**まちづくり計画の検討②** ・駅前広場 ・周辺交通 ・誘導施設　など	**まちづくり計画の策定** ・計画のとりまとめ・承認
	検討方法はワークショップなど参加型を想定します		

※協議会の開催回数、内容などは、議論の進捗により変更します。